



World's First — World's Finest

[Home](#) [Site map](#) [Contact Us](#)

[Product](#)

[Topics](#)

[Advertising](#)

[Company](#)

[Web Shop](#)

Insight Report 2017

■バルボリンがサポートするスバルWRX STI、アメリカのラリーで快進撃を続ける



バルボリンがサポートしているスバル・ラリーチームUSAがスバルWRX STIを駆ってアメリカのラリー・ステージで快進撃を続けている。

まずは今年から始まったARA(米国ラリーアソシエーション)だ。開幕戦は2月4日、カナダのケベックで行われたラリー・パシュ・ネージュ。そのフルウインターステージを制したのは米国ラリー選手権を6連覇したデビッド・ヒギンズで、僚友のトラビス・ベストラーナが続いた。2人が駆るスバルWRX STIのボディにはバルボリンのステッカーが貼られている。第2戦は4月21～23日、オレゴン州での“オレゴン・トレイル・ラリー”。サーキットステージを含めた激しい争いを制したのはベストラーナ。僅か10.5秒差でヒギンズをかわしての優勝だった。そして迎えた第3戦は5月13～14日、ワシントン州での“オリンパス・ラリー”。1980年代後半にはWRC(世界ラリー選手権)にも組み入れられた伝統のラリーである。グラベルステージに加え、そこに雨と言うハードなコンディション。ヒギンズがベテランの強みを見せて優勝。これにベストラーナが続いた。トップは入れ替わるものの、スバル・ラリーチームUSAは3戦連続1-2フィニッシュを成し遂げている。

その一方でバルボリンはラリークロスGRC(レッドブル・グローバル・ラリークロス)でもスバル・ラリーチームUSAをサポートしている。ラリークロスはサーキット走行に加えダートでのジャンピングと言うハードな走り世界的に人気急上昇中のモータースポーツだ。GRCはアメリカを中心に全10戦で、タイヤはヨコハマのワンメイクとなっている。ここでもマシンはバルボリンステッカーを貼ったスバルWRX STIラリークロスで、ドライバーはクリス・アトキンソンとパトリック・サンデルの2カー体制。開幕は4月29日のメンフィス。ここで“アトコ”の愛称で知られるアトキンソンはヒート1はパンクで3位に終わるものの、続くヒート2ではぶっちぎりの優勝を手に入れている。

日本では馴染みの薄いアメリカでのラリーだが、ARA、GRC共にバルボリンがサポートするスバル・ラリーチームUSAのスバルWRX STIの活躍に大いに期待したい。